

議員定数削減13名に!

町議会議員選挙から。

9月定例会において、議員定数を「12名程度」に減らすべきとの陳情を賛成多数で採択し、その後定数を「13名」にする条例改正案を賛成多数で議決しました。

議会は、本年6月の定例会にて議員定数を「15名」にするとの議員案を賛成多数で議決したばかりですが、町民の方々の声を受けて審議を行いました。その過程をご説明いたします。

陳情

(詳細は前ページにてご確認ください。)

受理番号4 議会定数削減についての陳情

不採択

受理番号5 那須町議員定数の削減についての陳情

不採択

受理番号6 那須町議会議員定数に関する陳情

討論

議会運営委員会平山忠委員長より、議長に対して審査結果の報告がありました。その後各議員から質疑を経て、討論が行われました。その内容は…。

反対

荒木 議員



6月議会で15名という定数条例が可決された。陳情が出たから変更するというのは町民から付託を受けた議員としてありえないことである。

これに賛同するというのであれば、町の代表として議員の信頼は更に低下するだろう。

賛成

薄井 議員



今回の3件の陳情を町民の皆様のご意見として重く受け止めるべきである。

陳情の趣旨を理解し、今後の議員定数の中でできる限りの議論をすることで、

町民の皆様の期待に応え、信頼回復を目指し対応したい。

反対

竹原 議員



本陳情を採択することは6月議会で議決した定数15名を否定することになる。

議決を否定することは議決の原則を放棄することであり、議会への信用を無くすことである。陳情の内容は尊重するが、まずは15名の結果を評価するべきである。

賛成

池澤 議員



陳情の受け止め方は二つある。議会の議決を尊重すべきというものと、町民の声を受け止めるべきというものである。陳情は議員定数を12名程度とする幅のある要望である。議会活動の停滞もないと考えられる。